

原子力国際協力専門部会 ワーキング・グループの設置について（案）

平成 9 年 3 月 2 6 日

今後の原子力国際協力専門部会における審議を効率的に行うために必要な材料を提供するため、本専門部会の下に、「国際協力ワーキング・グループ」及び「核不拡散ワーキング・グループ」を設置する。両ワーキング・グループは、それぞれの検討事項に応じて論点を整理・集約し、その結果を本専門部会に報告する。

1. 日程

4 月以降、1～2 ヶ月に 1 回程度を目途に開催し、本年秋頃を目途に中間的な論点整理・集約を行う。この間、適宜専門部会に進捗状況を報告する。

2. ワーキング・グループの論点整理・集約事項

(1) 国際協力ワーキング・グループ

- 1) アジアの原子力をめぐる最近の状況
- 2) 協りに当たっての基本的考え方
- 3) 協力のあり方

(2) 核不拡散ワーキング・グループ

- 1) 核不拡散分野における最近の国内外の諸情勢
- 2) 核不拡散政策の観点でみた原子力平和利用政策の取り組みの基本的考え方
- 3) 核不拡散に係る主要な原子力政策

3. 構成員

(1) 国際協力ワーキング・グループ

(座長)	松浦祥次郎	日本原子力研究所副理事長
	植松 邦彦	動力炉・核燃料開発事業団副理事長
	國廣 道彦	経済同友会代表幹事顧問
	小佐古敏荘	東京大学助教授
	下山 俊次	日本原子力発電（株）常任監査役
	鈴木達治郎	(財)電力中央研究所経済社会研究所研究主幹
	竹下 寿英	(株)テクノバ参与
	長岡 貞男	一橋大学教授
	三石 治子	(社)日本原子力産業会議海外業務部長

(2) 核不拡散ワーキング・グループ

(座長)	黒沢 満	大阪大学教授
	飯田 浩史	産業経済新聞論説委員
	岩田修一郎	東京家政学院筑波女子大学助教授
	植田 隆子	国際基督教大学教授
	金木 雄司	(社)日本原子力産業会議開発部長
	栗原 弘善	(財)核物質管理センター専務理事
	小佐古敏荘	東京大学助教授
	鈴木 篤之	東京大学教授
	千崎 雅生	動力炉・核燃料開発事業団核物質管理部核不拡散対策室長
	高橋 健治	(株)三菱マテリアル地球環境エネルギー事業本部長附
	内藤 香	日本原子力研究所総括調査室長
	中西 輝政	京都大学教授
	納家 政嗣	上智大学教授
	森本 敏	(株)野村総合研究所主任研究員
	山崎 吉秀	関西電力(株)取締役

注) 上記構成員は、部会長及び座長の判断により、必要に応じ追加できるものとする。